



季節感

『いち日で 足袋は乾かず 花ハ
ツ手』 真砂女

天狗の団扇の様な大きな葉が福を
招くというので昔はどの家の庭に
もあり鬼門にあたる所に植えられ
た…とか。

『八手の花』

平成 26 年 1 月 1 日
福岡市西区大字羽根戸
大塚俊樹



春菊のような葉

フユノハナワフヒ 佐竹



熊洞居人独言

93

2014 年、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく
お願いします。

kuma=冷川は現在 73 歳に成って居ります。誕生日が昭和 15 年
8 月 20 日であり、今日は 1 月 7 日なので、現在は 73 歳として日
常生活を送っています。常々お伝えしているように、毎日朝起きた
時には宝満山を拝んでおり、今月中には宝満山登山を行うようにし
ようと考えています。また、これもお伝えしましたが、現在住んで
いる「宮の森」の団地は、太宰府天満宮境内の山の東側斜面に造成
された団地で、周辺部には森林が残されており、素晴らしい林と成
っております。此所の道を歩くことも、変わらず kuma の日課であり
ます。



★都市公園で自然観察会 32★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくり
と観察します。

☆日時 1 月 19 日 (日)

集合 14 時 ~ 解散 16 時

☆場所 春日公園・自然かんさつ館
〔旧公園管理センター〕

※今年度の定例総会で、観察会を有料にし、参加費を集めること
に決まりました。活動経費の補助などに充てます。

会員 200 円、一般 300 円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX 兼用]

E メール kurabird-tamura@nifty.com

日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

1 / 19 (日) 2 / 16 (日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-3072（松永紀代子）

1 / 25 (土) 2 / 22 (土)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

2 / 2 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：8:00～11:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

2 / 8 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時 間：9:00～12:00
集 合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

2 / 9 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2 / 4 (火)
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：旧公園管理センター前
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

1 / 26 (日)
膿施山（みやま市）
時 間：9:00～
集 合：膿施山公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田）



福岡植物友の会 主催

1 月以降の例会は
お問合せください。
問合せ：092-662-2983（佃昇）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

2 / 1 (第 1 土曜日)
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）
集 合：九州歴史資料館駐車場
時 間：9:30～12:30
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円（保険料込）
ブログは 三国丘陵 [検索](#) で
すぐにヒットします。



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察会の様子

久留米の自然を守る会 主催

第 4 1 1 回例会 1 / 19 (日)

26 年度総会・環境講演会・新年会
事前に申し込みをお願いします。
総会 13:30～14:30
環境講演会 15:00～17:00
「文化人類的な目で楽しむ南米旅行」
講師 古賀暉人氏
新年会 18:00～19:30
ビストロ飯田
会費 3500 円
詳細はお問合せください。
問合せ：0942-46-8622（古賀）
0942-46-8623 (fax)

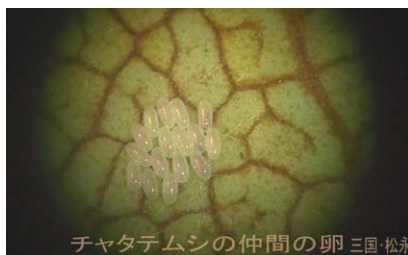


ミヤマガラス群入り前の集団 三国・松永

和白干潟を守る会 主催

1 / 25 (土)
守る会定例会議
時 間：10:30～13:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

1 / 25 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



チャタテムシの仲間の卵 三国・松永

・～・春日公園自然観察日記／第31回2013年12月15日（日）・～・

春日公園観察会2013年12月15日の報告

参加者、会員5名でした。

開始してまもなく、サルスベリの種を観察。なんとカエデの種と同様に、羽があることを観察。遠くからみて、丸い種だろうと思っていた。驚きでした。なんでもかんでも確かめること、教訓でした。



レンギョウ、この寒い頃から、ちらほら花を咲かせていました。

秋が終わり、初冬の様子、ドウダンツツジ名残の紅葉やサンシュユのまぶしい赤い実に出会いました。田字草



2013 九州自然協議会 in 鹿島 参加報告

主催：九州自然協議会、公益財団法人 日本自然保護協会

開催担当：ネイチャー佐賀

生物多様性基本法第13条で地方公共団体に策定が努力義務とされている生物多様性地域戦略については、各都道府県及び、各市区町村において、策定作業とその実施が進行しつつあります。

今回の九州自然協議会は、その生物多様性地域戦略について、私たちはどう捉え、どのように行動の中に生かして行くべきか等について、みんなで考える場になりました。



○2013年12月7日(土)13:00~8日(日) 1泊2日 (雨天決行)

○鹿島市 干潟展望館／鹿島市 自然の館『ひらたに』

○九州各県の自然観察指導員【約30人が参加】

プログラム

1. 佐賀県の生物多様性地域戦略について
 - ・佐賀県 暮らし環境本部 有明海再生・自然環境課
2. 鹿島市 干潟展望館の取り組み紹介
 - ・鹿島市 干潟展望館
3. 生物多様性国家戦略と地域戦略の関わりについて
 - ・公益財団法人 日本自然保護協会
4. **ミニ・パネルディスカッション**『生物多様性地域戦略について考える』

講師&パネリスト/コーディネーター

- ・佐賀県 有明海再生・自然環境課 (天草 努)
 - ・鹿島市 干潟展望館 (中村安弘)
 - ・公益財団法人 日本自然保護協会 (朱宮丈晴)
 - ・ネイチャー佐賀 (前田修之、増田英治)
 - ・九州自然協議会 (足立高行)
5. エクスカーション
 - ・経ヶ岳山歩きコース／松永公幸氏の報告参照

・干潟の野鳥・酒蔵コースは、田村が参加しました。

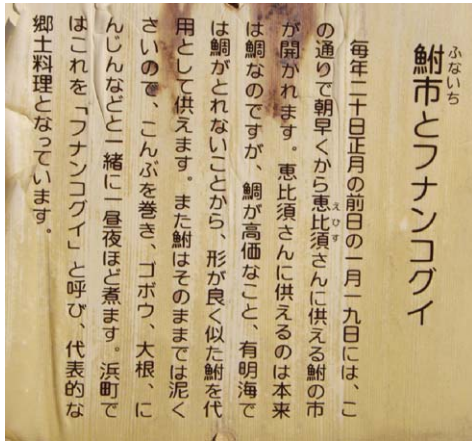
12/8朝、自然の館『ひらたに』で記念撮影し、鹿島市の海辺に向かった。肥前浜宿の駐車場で、地元で活動する案内人の中村さん(若い女性)と合流。干潟の野鳥観察の潮待ちも兼ねて酒蔵通りを散策。通りには歴史を感じさせてくれるものがたくさん。



霜の降りた平谷の朝



フナ市の看板と恵比寿さん



水のきれいな水路



水路のエビモ



ここには、昔の民家も保存されていた。お漬物の蔵では、素敵なツバメの糞対策がありました。

浜川は潮が引いた川で、アオサギ・コガモ・ハシビロガモ・ズグロカモメなどを見かけた。ここから、車ですこし移動。新籠海岸で野鳥を楽しんだ。

干潟を観察。

十数羽のダイシャクシギ



アトリの大群



電線で休息していたアトリ



今回、平谷から肥前浜宿、浜川、新籠海岸で、45種の野鳥を楽しみました。 報告：田村耕作

◇◇【ネイチャーガイド・オオムタ】自然案内人 のご紹介◇◇

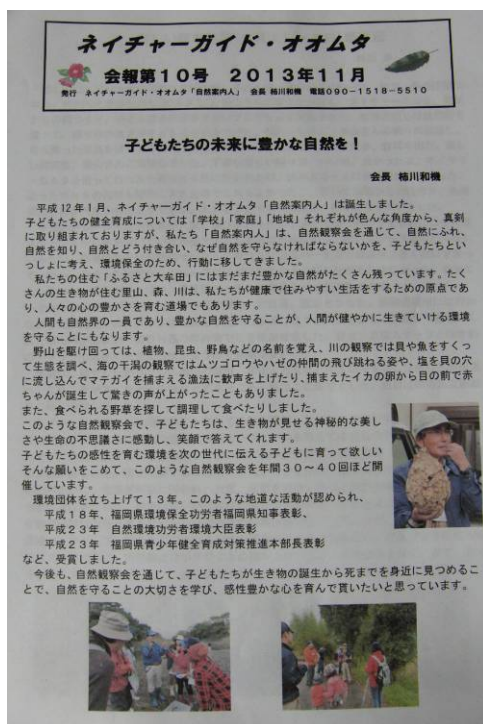
会員の松永公幸さんから「ネイチャーガイド・オオムタ」会報第10号 2013年11月を、いただきました。松永さんとは、12/7から12/8にかけて佐賀県鹿島市の干潟と山で開催された九州自然協議会でお会いしました。

会報によると、「ネイチャーガイド・オオムタ」自然案内人は、平成12年1月に誕生。会長は柿川和機さんで、子どもたちの感性を育む環境を次の世代に伝える子どもに育てほしいとの願いをこめて、自然観察会を続けておられるとのこと。

会報の掲載記事の表題を紹介します。

- ・ 楽しい宿泊体験(6/1から6/2)感想記 林田 寿 報告
- ・ 親子で探検！ふるさと大牟田の豊かな自然シリーズ 白銀川水辺観察会 7/2 中島・報告
- ・ 親子で探検！ふるさと大牟田の豊かな自然シリーズ 大牟田市動物園まるごとウオッチング 8/17 横山・報告
- ・ 自然監察会大牟田「市民の森」 8/22 報告・小原
- ・ 子どもたちに感動与える「生きものワクワク展」を目指して 8/23から8/27
- ・ ムササビ観察会 江浦俊彦
- ・ 会員日帰り観察会 報告・会員 江浦
- ・ 干潟観察会（旧三池海水浴場） 江浦俊彦
- ・ 風の丘にて 古賀弘子

発行 ネイチャーガイド・オオムタ【自然案内人】 会長・柿川和機・携帯 090-1518-5510



◇投稿◇ 経ヶ岳登山自然観察会の報告

ネイチャーガイド・オオムタ 松永公幸

「生物多様性地域戦略を考える」をテーマに、12月7日（土）・8日（日）に九州自然協議会 in 鹿島が佐賀県鹿島市で開催された。1日目は干潟展望館で会議、夜は自然の館ひらたに宿泊、各自が持ち寄った酒を酌み交わし、情報交換や仲間との親睦を深めた。2日目のエクスカッションは、経ヶ岳山歩きコースを選択した。

私の住む大牟田市から有明海を隔てて、多良山系に沈む夕陽を毎日眺めては、一度登ってみたいと思っていた。夜が明けるのを待ちかねて起きると、外は真っ白な霜が降りていた。宿は標高420mの高さにあり、相当冷えるようだ。思わず身震いした。弁当とお茶をリュックへ詰め込み、地図を片手に5人で元気に出発。林道を横切り、林内へ入ると、樹齢200年のケヤキの大木が何本もあった。良く見ると、箒を逆さにしたような樹形の木は一本もない。隣の木とせめぎ合っているからだろう。山は国有林だが、自然散策の入山はどうぞと看板に書いてある。石積みを残したままの炭焼き窯のあとがあちこちに見られた。枯れ木にキクラゲがびっしり付いていた。ホコリタケがあ

ったので指で押すと、煙のような胞子が舞った。名前のわからないキノコが何種類もあった。落ち葉の中ではカナオイの緑の葉が印象的だ。頭上を見やると、空をバックに球状のヤドリギが見えた。宿主はケヤキである。ヤドリギは大きくならないので草か木かで議論したが、やっぱり木だろうという結論になった。マムシグサの赤い実を一粒ずつ外したら、地肌の紫がとてもきれいだ。地面にイノシシの糞の黒い塊が落ちていた。中を見ると、リュウキュウマメガキの種が何個も出てきた。足元の谷間から心地よいせせらぎの音が聞こえてきた。木の間隠れに見え隠れするイイギリの赤い実①は、花と見まがうほどの美しさである。さじ形の葉を四方に広げたイチヤクソウを見ては、夏に咲く可憐な花を想像した。イヌガヤの葉は尖っているが、やわらかくて痛くない。モミの大木は一体樹齢何年ぐらいになるのだろう。ツリバナは赤い実をその名のように吊り下げている。山道の石の上に、縄張りを示すようにテンの糞があった。ミヤマシキミの赤い実②は毒だと聞かされた。食いしん坊の私はうっかり食べる場所であった。どのくらいの毒性か試す勇氣はない。

馬の背にたどり着くと、中間点まで来た安堵感に浸りながら小休止。冬のやわらかな陽射しを浴びて、逆光の中で常緑樹があざやかに光り輝く。木肌が赤いのはヒメシャラだ。中が空洞になった千年樫③へ入り、空を見上げると、屋久島のウィルソン株に入った気分を味わえた。何となく生命力のオーラを感じる。行ったこともないが、ナナカマドは赤い実④と同時に赤い冬芽をつけ、春の訪れを待っている。ツル lindou の赤い実⑤を発見した。おいしそうで食べたい衝動に駆られたが、あまりの可憐さに愛しく手がでない。植物たちは子孫へ生命を繋ぐために実をつけるが、その色がほとんど赤なのに気が付いた。野鳥や獣たちに食べてもらい、種子を運んでもらうために目立つ色彩をしているのだろうか。

鎖を頼りによじ登る難所を越えて、やっと山頂へ到着。東の方を見ると、多良岳（996m）・五家原岳（1,057m）の奥に有明海が広がっていた。諫早湾の例の堤防も薄ぼんやりと見えた。開門か閉門か、漁業者か農業者か、難しい問題だ。1,075.7m と書いた標柱と一緒に全員で記念撮影⑥。

弁当を食べ終わると、早々に下山開始。帰りは馬の背から平谷キャンプ場コースを取り、一気に下った。山での観察会は、上りですべきで、下りはひたすら帰る方が良いと思った。途中杉林が続いたが、伐り倒された間伐材は林内に放置されたままである。国内林業の厳しさを知らされた。予定通り午後3時に宿へ全員無事に戻った。

来年の開催地である宮崎県綾町での再開を約して笑顔で別れた。



⑥ 前列右側がナイス福岡会員の松永公幸さんです。
編集担当が原稿を加工



◆◆◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆◆◆

 **インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。**
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

 **会費振込について**
それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

年会費:2000円

郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 **皆に知らせたいことはありませんか?**

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

 **定例会に参加してみませんか?**

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブ内にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!

次回の定例会は、**平成26年2月14日(金)**午後6時より事務局で行います。2月号の原稿は、**2/10(月)**までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。
宜しくお願いします。

 **寄付金の報告**

春日公園での観察会参加費(10~12月分) 1,150円

 **他団体の会報の紹介**

- ・北海道自然観察協議会 自然観察 第108号 2013年11月15日
海辺で出会う漂着物/暖流に乗ってくるタコを8~9ページに掲載
- ・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第152号(2014年1月号)、1/1発行。
「鳥信で募集する野鳥たち」でホオアカを掲載。
- ・福岡植物友の会 会報 平成25年12月号 第54巻
11月観察会(第657回)「コカコーラの森」報告を掲載。
- ・NPO法人自然観察指導員埼玉 あらかわ通信 No. 179 2013年12月1日
〈目からうろこ・樹を見る目が変わるかも「樹木を見る」研修会に参加して〉を掲載。
- ・島根県自然観察指導員連絡協議会 おとしぶみ Vol. 93 2013. 12. 8
「H25年度中国5県自然観察指導員交流会に参加して」を掲載。
- ・環境フェスティバル ふくおか 2013 実施報告書が、実行委員会から届きました。

お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表: 冷川昌彦/事務局長: 小野 仁/
編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計: 宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南區梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765
URL: <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記 12月の定例発送会は、山本弘子・大塚俊樹・藤川渡・鶴田義明・田村耕作が参加。田中健二から欠席の連絡有り。12/7~8、佐賀県鹿島市で開催された九州自然協議会に参加しました。都合で12/7の後半からの参加。生物多様性の佐賀県での取り組みを中心に、多くの人たちに理解され、活動が広がりをもせるためには、一人一人がどうすればいいのでしょうか。生物多様性を守り育てていくためには。鹿島の干潟で野鳥を楽しむ体験、良かったですよ。
田字草

